学校だより

大いちょう No.15

令和５年１２月２２日発行
ひたちなか市立津田小学校
TEL　２７４－２０１０

地域をつなぐ伝統文化

　１２月３日の津田コミセンまつりでは、伝統文化クラブが唄や踊りを披露しました。地域の皆様のお囃子に合わせた手拍子で、踊りに華やかさが増しました。三味線や太鼓に合わせて、堂々と演技する１９名の子ども達の顔は誇らしく輝き、喜びと感動に会場が包まれているように感じました。
　跳ねるうさぎのように飛躍を目指した今年は、保護者の皆様、地域の皆様のご協力により、子ども達の活躍の場を地域にも広げることができました。

さくランスマイル・プロジェクト(SP)　～えがお いっぱいの学校へ～

　代表委員を中心に“自分たちの力で学校をよりよくして えがおいっぱいの学校へ”を今年度のスローガンにして取り組んでいます。前期は「きれいキレイ作戦」「第１回あいさつ運動」を実施しました。夏休みに代表児童が参加した「ひたちなか市 笑顔サミット」をきっかけに、代表委員と担当教諭で話し合い、後期は、「思いやりに関する集会を開いて、笑顔をもっといっぱいにしよう」と目標を立てました。
　縦割り班で遊ぶ「友達いっぱいタイム」や「第２回あいさつ運動」「SP 月間」を通して、笑顔がいっぱいになる活動を各学年で考えて取り組み、「さくランスマイル・プロジェクト集会(12/3)」で発表会をしました。友達のよいところを言葉で伝え合った活動や、友達との関わり方を振り返り、仲良く過ごす方法を考えて実践したことが発表されました。相手の気持ちを思いやる心の大切さに気づけるように、これからも、学校全体で継続して取り組んでいきます。

性教育講演会「いのちの授業」５・６年生、学校保健安全委員会

　龍ケ崎済生会病院　産婦人科医　陳央仁先生を講師に、性教育講演会が行われました。あなたが生まれたことは親の愛の証であり、キセキであるという講話には、自分の命を大事にして自分らしく生きるというメッセージが込められていました。「愛されるために生まれてきた」という言葉や出産の映像に、目を潤ませる姿もありました。かけがえのない命を大切にしてほしいと願う「**生**」教育講演会でした。

さまざまな分野の先生と学習しました

　１２月は、認知症サポーター講習会（５年生）や租税教室（６年生）など、講師を招いて学習する機会が多くありました。インストラクターを招いての親子ヨガ教室（２、３年生）では、親子や友達でペアになってヨガストレッチをしました。なかよし会（１、２年生）では、２年生がおもちゃ作りの先生になって、１年生とおもちゃを作りました。子ども達は関心をもって元気いっぱいに学習に取り組みました。学習へのご協力ありがとうございました。

第３回防犯パトロール連絡会（１２／２１）

　自治会防犯パトロール隊、子ども会育成会、二中学区地域の輪をつくる会青少年部、学区民生委員児童委員、PTA安全指導委員、交通安全母の会、市警察（市毛交番、スクールサポーター）が集まって、子ども達の登下校や学区の安全に関する連絡会をしました。子ども達への注意を呼びかけていきますので、ご家庭のご協力をお願い致します。
※「子ども達の挨拶がよくできる」「登校時は通学路を通っているが、帰りは通学路ではない道を通る子がいる。安全面で心配なので学校や家庭で確認してほしい（防犯パトロール隊）」「不審者。事故等についても学校、警察で連携して対応する（警察）」「６年生は、４月からの自転車通学に備えて、荷物を背負って自転車に乗る練習をしておくとよい（民生児童委員）」「マナーを守った地域の店等の利用（青少年部）」